

## 令和元年度 長良川河口堰県民調査団 実施状況

実施日	令和元年10月28日(月)
調査テーマ	治水対策 環境調査 河口堰管理状況
調査箇所	アクアプラザながら 長良川河口堰 牛牧排水機場 人工干潟(城南沖)
調査メンバー	長良川河口堰調査検討会委員 漁業協同組合 県土地改良事業団体 県議会議員 学生・教員 県市町関係 公募  出席者 48人

### 【調査風景】



写真：牛牧排水機場

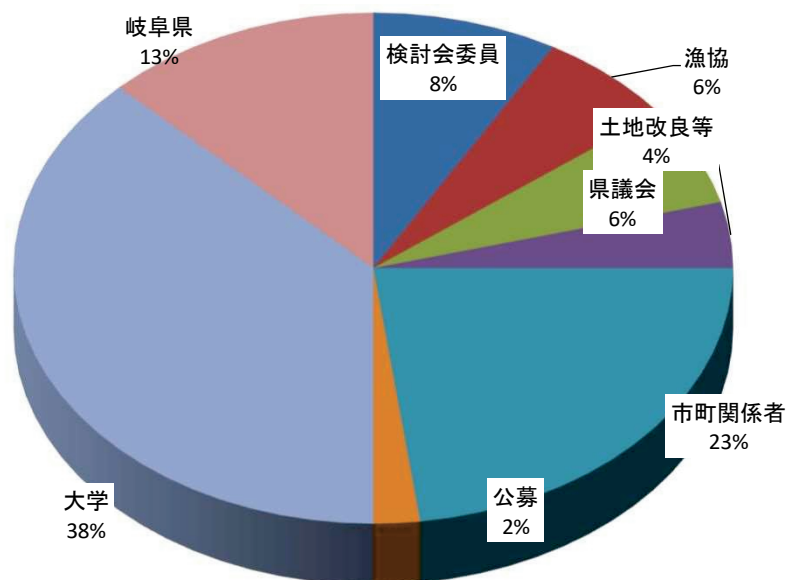


写真：長良川河口堰

## 1. 参加者構成

所属・団体等	検討会委員	漁協	県議会	土地改良等	市町関係者	公募	大学	岐阜県	合計
員数(人)	4	3	3	2	11	1	18	6	48
構成比	8.3%	6.3%	6.3%	4.2%	22.9%	2.1%	37.5%	12.5%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

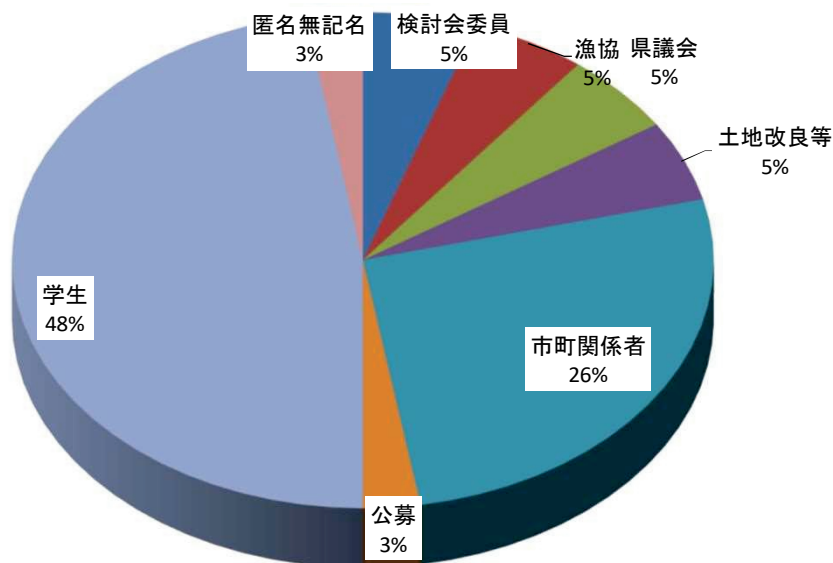


## 2. 調査票回収結果

所属・団体等	検討会委員	漁協	県議会	土地改良等	市町関係者	公募	学生	匿名無記名	合計
回収数(人)	2	2	2	2	10	1	18	1	38
構成比	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	26.3%	2.6%	47.4%	2.6%	100.0%
回収率	50.0%	66.7%	66.7%	100.0%	90.9%	100.0%	100.0%		92.7%

※参加者の内、部分参加(1人)・県職員参加者(6人)については、調査票の集計からのぞいています。

※構成比は四捨五入の関係で、100.0%にならない場合がある。

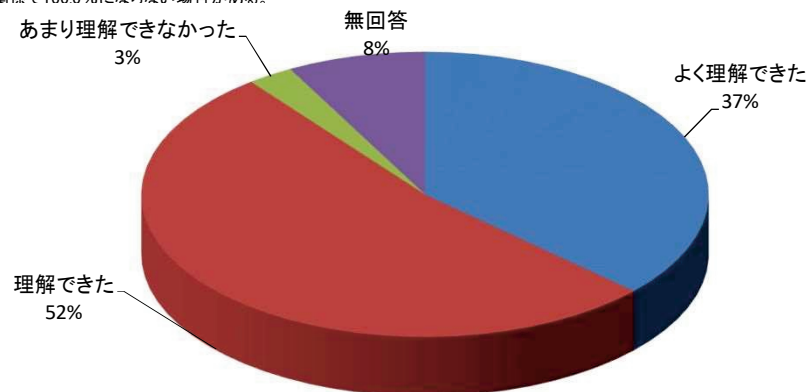


### 3. アンケート調査結果（各箇所での説明について）

#### (1) 牛牧排水機場(瑞穂市牛牧) ①施設の役割

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	14	20	1	3	38
構成比	36.8%	52.6%	2.6%	7.9%	100.0%

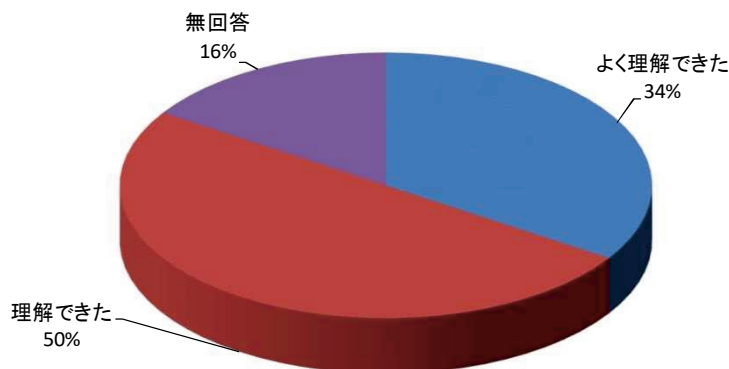
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



#### (2) 人工干潟(城南沖) ①干潟の役割

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	13	19	0	6	38
構成比	34.2%	50.0%	0.0%	15.8%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

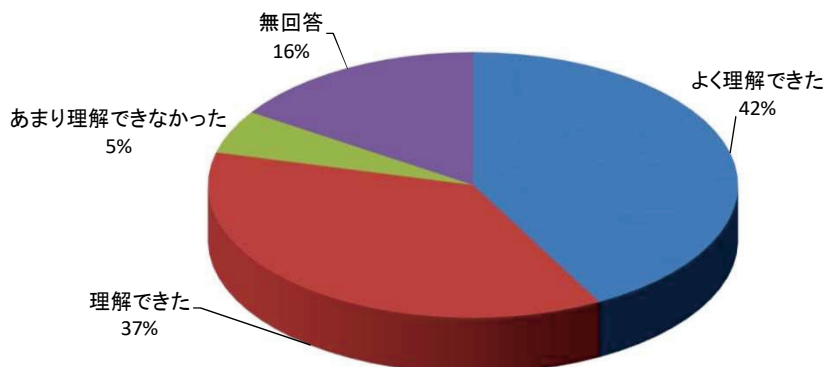


#### (3) 長良川河口堰

##### ①長良川の治水対策の効果について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	16	14	2	6	38
構成比	42.1%	36.8%	5.3%	15.8%	100.0%

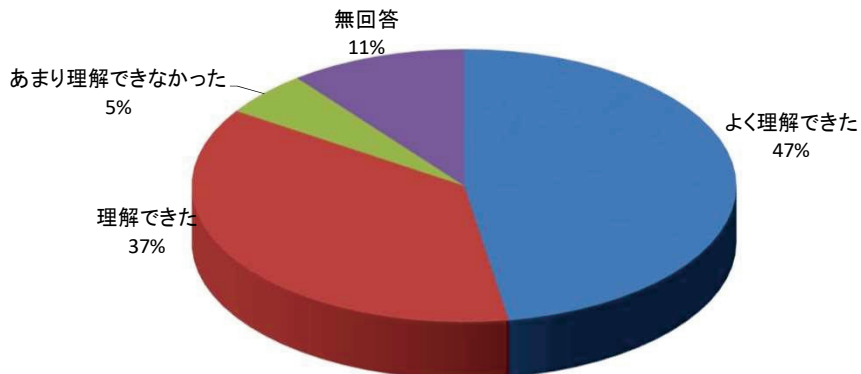
※四捨五入により個別の数字の合計が100%にならないことがあります。



②河川堰の機能や必要性について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	18	14	2	4	38
構成比	47.4%	36.8%	5.3%	10.5%	100.0%

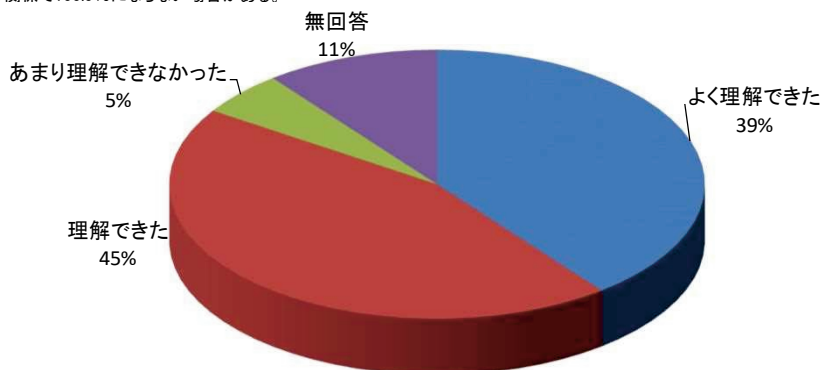
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



③河川堰の治水対策の効果について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	15	17	2	4	38
構成比	39.5%	44.7%	5.3%	10.5%	100.0%

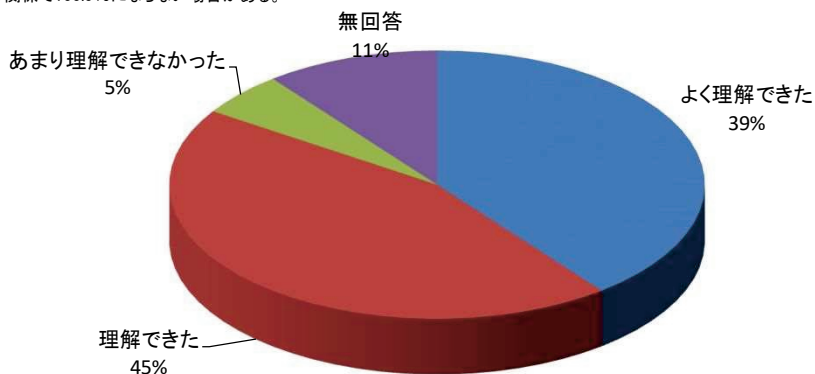
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



④河川堰周辺の環境(水質、魚類、底質)について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	12	20	2	4	38
構成比	31.6%	52.6%	5.3%	10.5%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

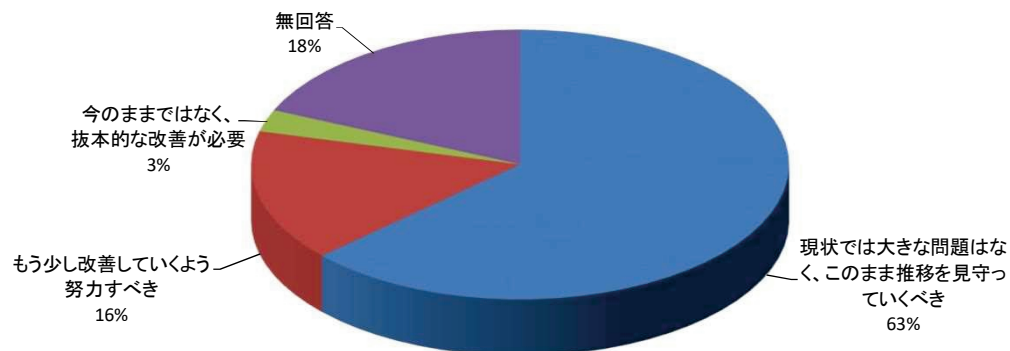


#### 4. アンケート調査結果（河口堰周辺の環境について）

##### (1) 水質

	現状では大きな問題はなく、 このまま推移を見守っていくべき	もう少し改善していくよう 努力すべき	今のままではなく、 抜本的な改善が必要	無回答	
合計	24	6	1	7	38
構成比	63.2%	15.8%	2.6%	18.4%	100.0%

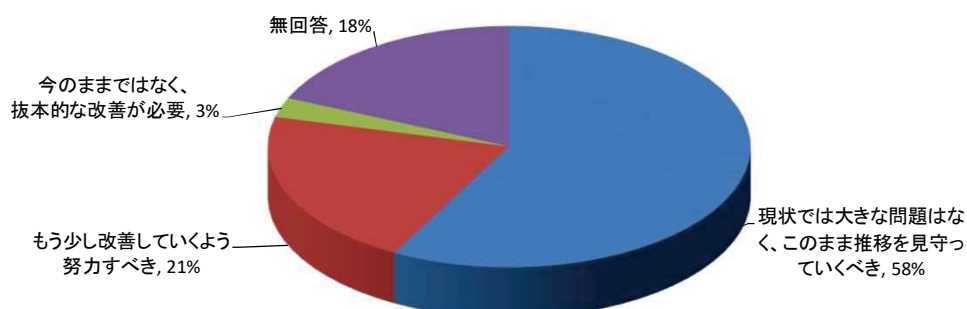
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



##### (2) 魚類

	現状では大きな問題はなく、 このまま推移を見守っていくべき	もう少し改善していくよう 努力すべき	今のままではなく、 抜本的な改善が必要	無回答	
合計	22	8	1	7	38
構成比	57.9%	21.1%	2.6%	18.4%	100.0%

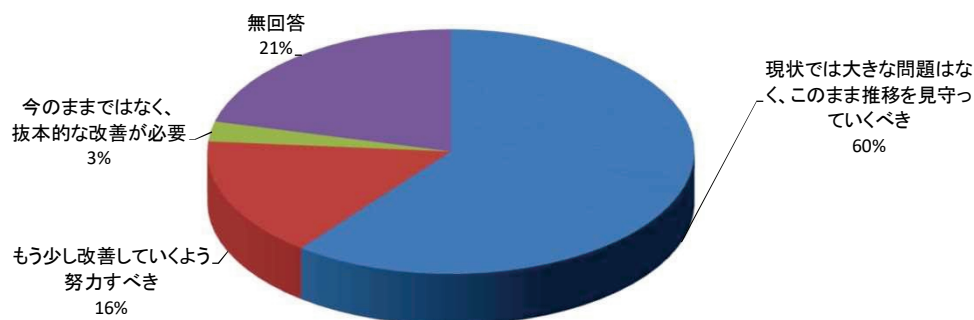
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



##### (3) 底質

	現状では大きな問題はなく、 このまま推移を見守っていくべき	もう少し改善していくよう 努力すべき	今のままではなく、 抜本的な改善が必要	無回答	
合計	23	6	1	8	38
構成比	60.5%	15.8%	2.6%	21.1%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



## 5. 参加者から寄せられた代表的な意見

### ● 長良川河口堰

#### 【治水・利水について】

- No. 1-1 しゅんせつ工事を行った事で洪水時でも水量が安全に流れる事や想定外の雨量に対しても全ゲートを開閉する事で洪水の被害にならないことがわかった。
- No. 1-2 洪水時の水位を下げ、又塩害の発生を抑えることが理解出来ました。
- No. 1-3 長良川の治水対策についての説明が少なかった。また長良川河口堰を作る前と現状と また、マイナス点の改善方法及び、その従来法・問題点への取り組み方の説明に入れると良いと考える。
- No. 1-4 今後の大雨、大水へのより一層の安全への対応に取り組まれるよう望む。
- No. 1-5 2004年の「2 mの水位低下効果」の宣伝はさすがに薄くなったが、「速報」として検証・吟味がよくされていない「役立った」情報をまきちらすのは良くない。「ダムの効果」宣伝が結果的に人命を脅かした今年の災害の教訓も真摯に受けとめるべき。

#### 【環境について】

- No. 2-1 水の氾濫を防ぐだけでなく、魚の遡上など、生態系にもしっかりと配慮して河口堰は造られていることがわかった。
- No. 2-2 より一層のアユのふ化事業を望む。
- No. 2-3 1億粒をふ化させて、海に放つ・・・大変な作業だが戻るのはざっと1万匹。長良川を遡上する稚鮎の1%未満（カウントしているのは1部にすぎないから）。力を入れるところのピントがずれていないか。
- No. 2-4 私の子供の時と比較すると魚類及び貝類の数が少なく思う。メダカ、センパラ、シロハエ、ケシ貝、カラス貝、ナマズ、ウナギ、モロコ、ライギ、フナ
- No. 2-5 上下流の底質について、現状で良くないように思われる。一人一人の意識を変えていく努力をしていくように思う。
- No. 2-6 底質の状態がよく理解できなかった。しゅんせつの状況を知りたい。
- No. 2-7 「水質」「魚類」「底質」とわけて問うことがすでに古い。「生態系」という観点が「ない」ことを自ら暴露してしまっている。どんなに立派な魚道を造ろうとも、川を遮断してしまい、汽水域を消滅させているという大問題に関しては単なるなぐさめでしかない。

## 【施設について】

- No. 3-1 河口堰が治水のために造られたことを、今回はじめて知り、河川下流の漁業関係者の理解と協力があって成り立っているものだと感じた。
- No. 3-2 作る前と現在運転中の効果の差の説明、また改善点の進め方も入れると良い。

## 【その他について】

- No. 4-1 環境面について長良川世界農業遺産に登録されたのをきっかけに、一人一人の意識を高める取り組みが必要だと思う。

## ● 河川管理施設

### 【牛牧排水機場、人工干潟（城南沖）】

- No. 5-1 工事の大きさ等がよく感じる事ができた。想定外の雨量、川水に少しでも近づけるような遊水池の完成をのぞむ。
- No. 5-2 犀川における水との戦いと歴史の説明をいただき、現在の治水施設・排水機場の役割等が良く理解できました。
- No. 5-3 樋門や遊水地の具体的な役割や昨今の大雨等の際はこうなります等イメージの沸く説明があればなお良いと思う。
- No. 5-4 犀川遊水地の調節が洪水調節の内数にカウントされているかどうか。
- No. 5-5 人工干潟を造る事で多種多様な生物の存在していることがわかった。
- No. 5-6 河道掘削上の有効利用、環境保護、長良川河口堰の建設と一石三鳥の事業が理解できた。
- No. 5-7
- ・自然環境が戻ることは大切だと思う。
  - ・水質は改善されたのかが気になる。
- No. 5-8 ここ2～3年のハマグリの漁獲の急減の原因や対策を聞きたかった。桑名在住で、ずっと調査を続けて来られた方が心配しておられるのを聞いているので。
- No. 5-9 干潟に下りれば、もっと理解できたのではと思う。

## ● その他全体について

- No. 6-1 流域の子供達にもっと河口堰を見学して、勉強させるといいと思う。

## 6. 過年度アンケート調査結果

### (1) 治水効果

※H29はアンケート項目無

(回答数)

(人)

年 選択肢	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H30	R1
[1]よく理解できた	24	10	17	7	9	15	11	15	27	7	16
[2]理解できた	1	18	25	29	23	21	23	10	24	13	14
[3]あまり理解できなかった	3	6	3	1	4	2	1	2	1	1	2
[4]その他	1	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0
[5]無回答	0	0	0	2	0	0	2	2	4	0	6
計	29	34	46	41	37	39	38	29	56	22	38

(回答割合)

(%)

年 選択肢	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H30	R1
[1]よく理解できた	83%	29%	37%	17%	24%	38%	29%	52%	48%	32%	42%
[2]理解できた	3%	53%	54%	71%	62%	54%	61%	34%	43%	59%	37%
[3]あまり理解できなかった	10%	18%	7%	2%	11%	5%	3%	7%	2%	5%	5%
[4]その他	3%	0%	2%	5%	3%	3%	3%	0%	0%	5%	0%
[5]無回答	0%	0%	0%	5%	0%	0%	5%	7%	7%	0%	16%

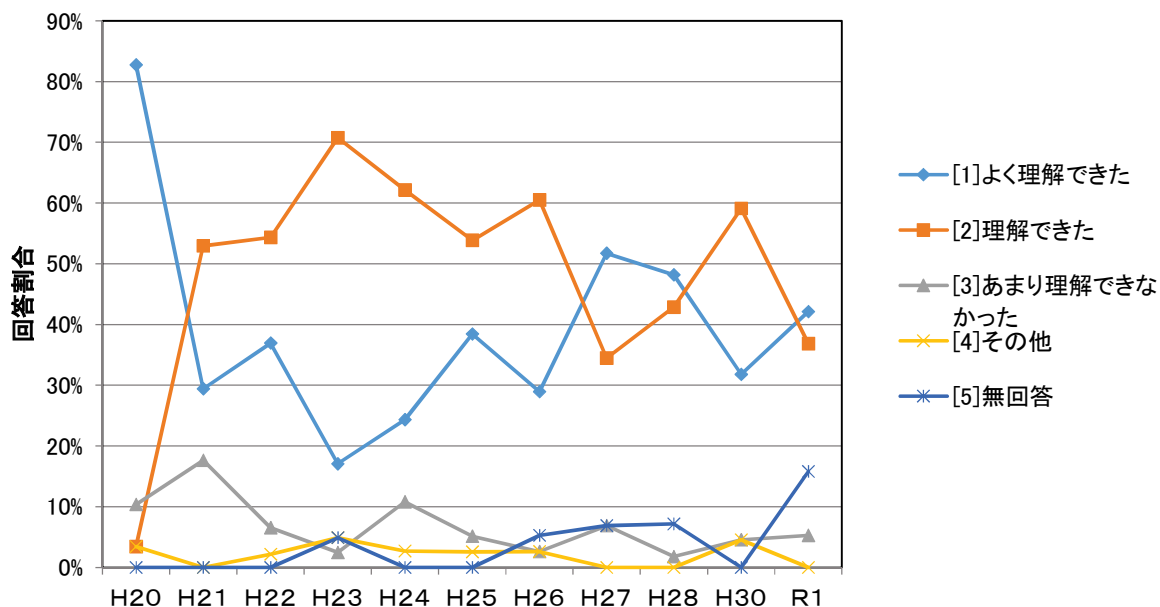


図-1 選択項目別回答割合推移(治水効果)



## (2) 必要性

(回答数)

(人)

年 選択肢	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
[1]よく理解できた	7	9	15	12	11	32	7
[2]理解できた	29	23	21	20	14	20	13
[3]あまり理解できなかった	2	3	2	1	2	0	1
[4]その他	1	2	1	2	0	0	1
[5]無回答	2	0	0	3	2	4	0
計	41	37	39	38	29	56	22

(回答割合)

(%)

年 選択肢	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
[1]よく理解できた	17%	24%	38%	32%	38%	57%	32%
[2]理解できた	71%	62%	54%	53%	48%	36%	59%
[3]あまり理解できなかった	5%	8%	5%	3%	7%	0%	5%
[4]その他	2%	5%	3%	5%	0%	0%	5%
[5]無回答	5%	0%	0%	8%	7%	7%	0%

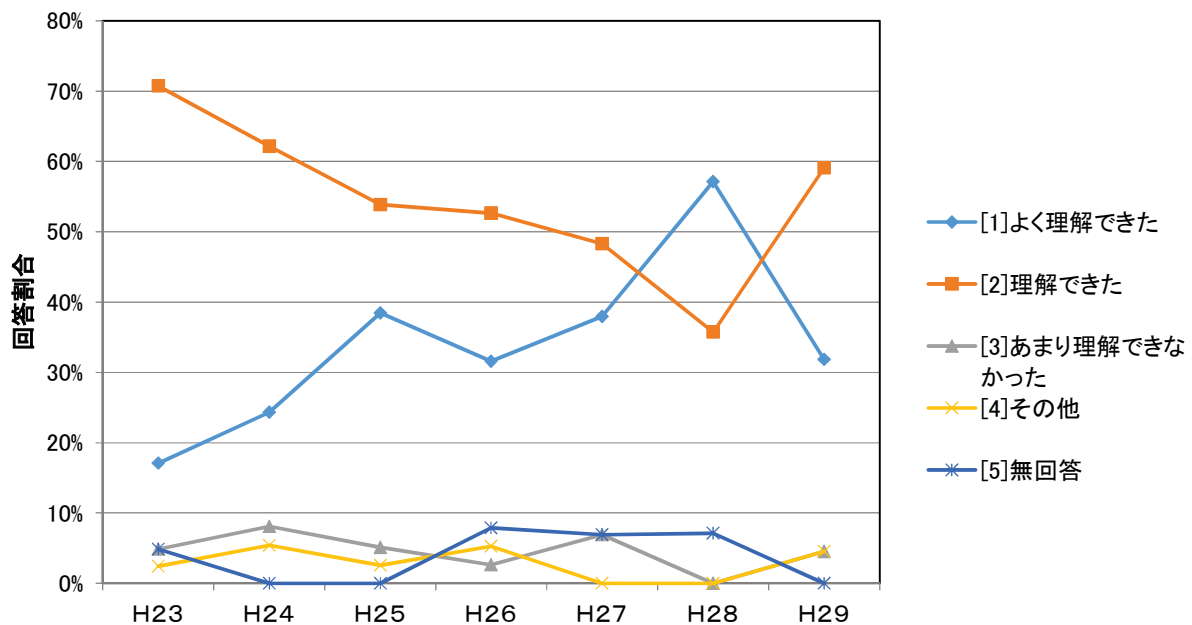


図-2 選択項目別回答割合推移(必要性)

### (3)機能

(回答数)

(人)

年 選択肢	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]よく理解できた	11	13	17	10	14	15	15	18	33	13	12	18
[2]理解できた	17	20	26	29	19	24	22	9	19	8	11	14
[3]あまり理解できなかった	1	1	2	0	1	0	0	1	0	1	2	2
[4]その他	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0
[5]無回答	0	0	0	2	0	0	1	1	4	0	1	4
計	29	34	46	41	37	39	39	29	56	22	26	38

(回答割合)

(%)

年 選択肢	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]よく理解できた	38%	38%	37%	24%	38%	38%	38%	62%	59%	59%	46%	47%
[2]理解できた	59%	59%	57%	71%	51%	62%	56%	31%	34%	36%	42%	37%
[3]あまり理解できなかった	3%	3%	4%	0%	3%	0%	0%	3%	0%	5%	8%	5%
[4]その他	0%	0%	2%	0%	8%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
[5]無回答	0%	0%	0%	5%	0%	0%	3%	3%	7%	0%	4%	11%

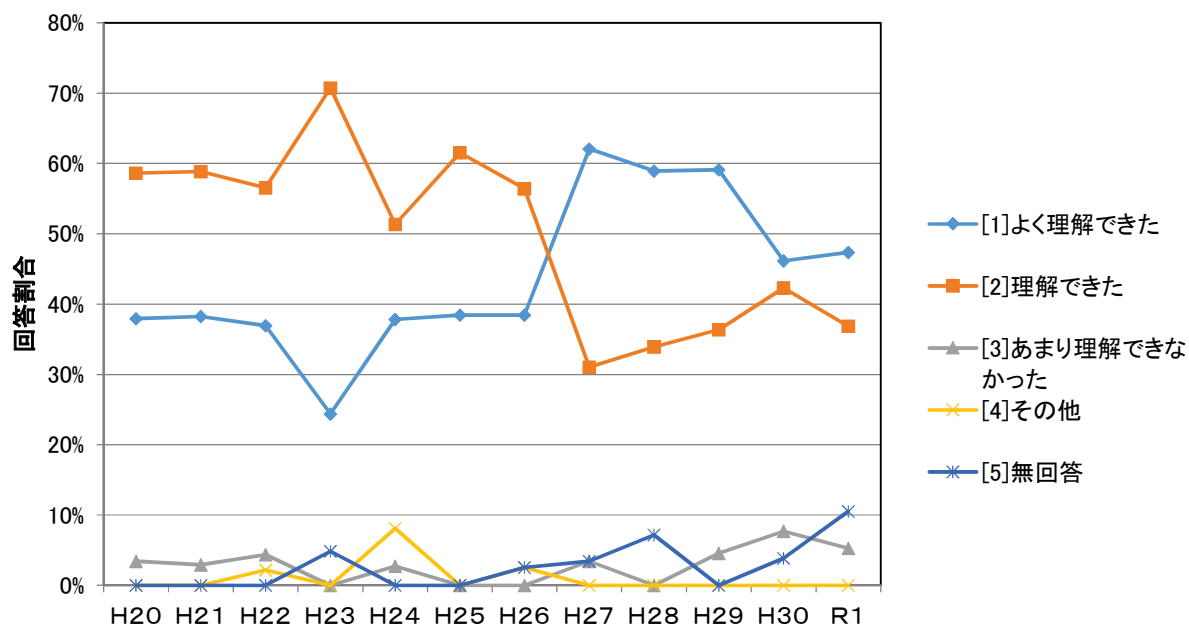


図-3 選択項目別回答割合推移(機能)

## (4) 周辺環境

(回答数)

(人)

年 選択肢	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]よく理解できた	7	7	8	6	10	10	11	25	9	8	12
[2]理解できた	20	32	27	24	26	26	13	26	10	14	20
[3]あまり理解できなかった	6	6	1	3	1	0	3	1	2	4	2
[4]その他	1	1	2	3	2	1	0	0	0	0	0
[5]無回答	0	0	3	1	0	3	2	4	1	0	4
計	34	46	41	37	39	40	29	56	22	26	38

(回答割合)

(%)

年 選択肢	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]よく理解できた	21%	15%	20%	16%	26%	25%	38%	45%	41%	31%	32%
[2]理解できた	59%	70%	66%	65%	67%	65%	45%	46%	45%	54%	53%
[3]あまり理解できなかった	18%	13%	2%	8%	3%	0%	10%	2%	9%	15%	5%
[4]その他	3%	2%	5%	8%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
[5]無回答	0%	0%	7%	3%	0%	8%	7%	7%	5%	0%	11%

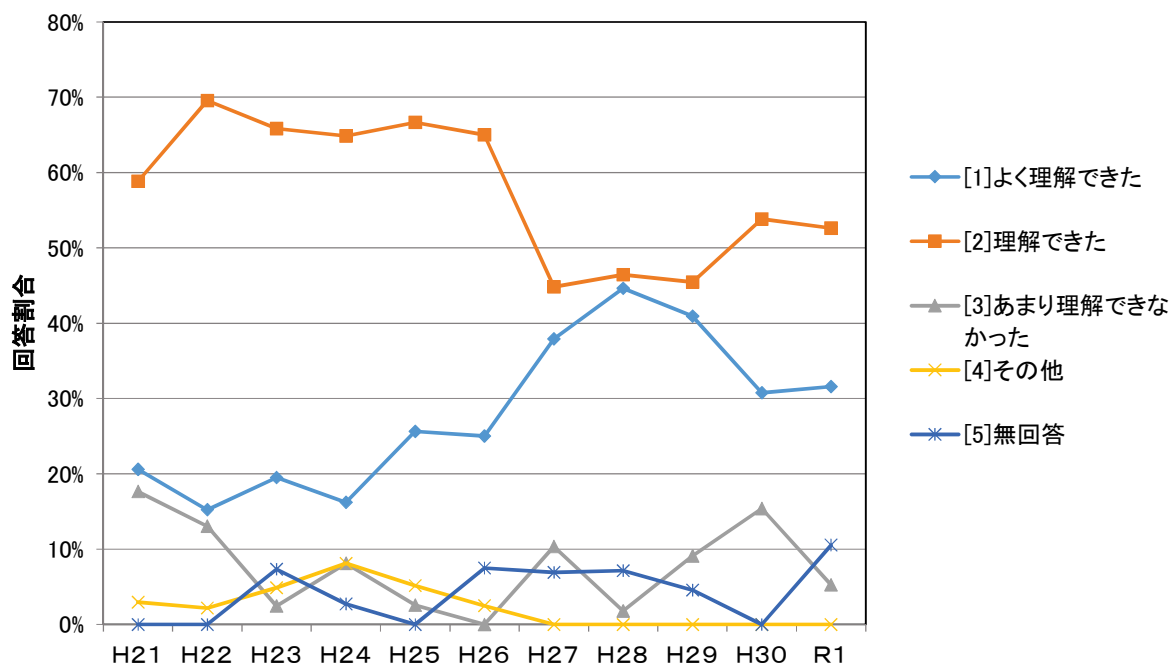


図-4 選択項目別回答割合推移(周辺環境)

## (5)水質

(回答数)

(人)

年 選択肢	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]調査継続し、推移を見守る	17	18	20	17	18	24	19	23	27	29	22	43	14	19	24
[2]調査継続し、対策を検討する	15	14	17	11	14	17	16	8	7	5	3	12	6	4	6
[3]対策を検討し、改善の必要あり	8	4	2	0	1	3	3	3	4	0	1	0	1	2	1
[4]その他	0	0	2	1	1	2	0	2	1	1	0	0	1	0	0
[5]無回答	3	0	1	0	0	0	3	1	0	3	3	1	0	1	7
計	43	36	42	29	34	46	41	37	39	38	29	56	22	26	38

(回答割合)

(%)

年 選択肢	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]調査継続し、推移を見守る	40%	50%	48%	59%	53%	52%	46%	62%	69%	76%	76%	77%	64%	73%	63%
[2]調査継続し、対策を検討する	35%	39%	40%	38%	41%	37%	39%	22%	18%	13%	10%	21%	27%	15%	16%
[3]対策を検討し、改善の必要あり	19%	11%	5%	0%	3%	7%	7%	8%	10%	0%	3%	0%	5%	8%	3%
[4]その他	0%	0%	5%	3%	3%	4%	0%	5%	3%	3%	0%	0%	5%	0%	0%
[5]無回答	7%	0%	2%	0%	0%	0%	7%	3%	0%	8%	10%	2%	0%	4%	18%

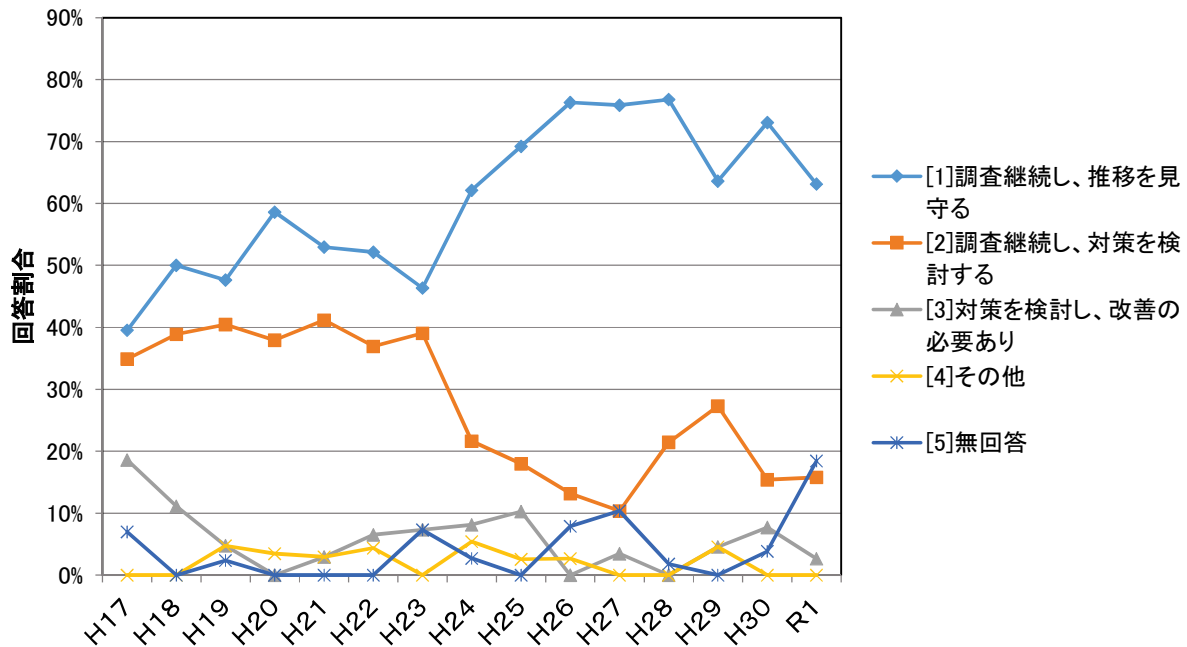


図-5 選択項目別回答割合推移(水質)

## (6) 魚類遡上(降下)

(回答数)

(人)

年 選択肢	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]調査継続し、推移を見守る	13	19	22	20	23	33	25	22	41	16	17	22
[2]調査継続し、対策を検討する	13	13	20	17	8	4	6	2	12	5	6	8
[3]対策を検討し、改善の必要あり	1	0	2	1	4	1	1	3	0	1	2	1
[4]その他	2	2	2	0	2	1	1	1	0	0	0	0
[5]無回答	0	0	0	3	0	0	5	1	3	0	1	7
計	29	34	46	41	37	39	38	29	56	22	26	38

(回答割合)

(%)

年 選択肢	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]調査継続し、推移を見守る	45%	56%	48%	49%	62%	85%	66%	76%	73%	73%	65%	58%
[2]調査継続し、対策を検討する	45%	38%	43%	41%	22%	10%	16%	7%	21%	23%	23%	21%
[3]対策を検討し、改善の必要あり	3%	0%	4%	2%	11%	3%	3%	10%	0%	5%	8%	3%
[4]その他	7%	6%	4%	0%	5%	3%	3%	3%	0%	0%	0%	0%
[5]無回答	0%	0%	0%	7%	0%	0%	13%	3%	5%	0%	4%	18%

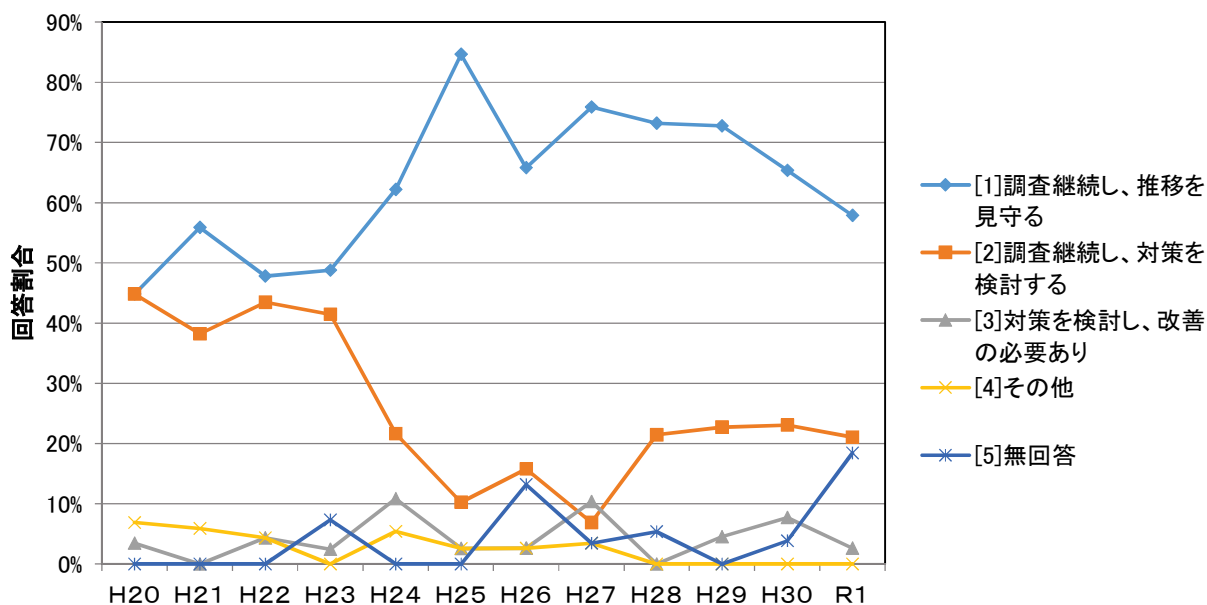


図-6 選択項目別回答割合推移(魚類遡上(降下))

## (7)底質

(回答数)

(人)

年 選択肢	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]調査継続し、推移を見守る	15	21	20	18	18	16	17	21	28	29	22	45	15	19	23
[2]調査継続し、対策を検討する	16	15	16	10	16	19	16	8	8	5	3	8	6	3	6
[3]対策を検討し、改善の必要あり	9	0	3	0	0	5	5	6	2	0	2	2	1	3	1
[4]その他	0	0	2	1	0	1	1	2	1	2	1	0	0	0	0
[5]無回答	3	0	1	0	0	5	2	0	0	2	1	1	0	1	8
計	43	36	42	29	34	46	41	37	39	38	29	56	22	26	38

(回答割合)

(%)

年 選択肢	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
[1]調査継続し、推移を見守る	35%	58%	48%	62%	53%	35%	41%	57%	72%	76%	76%	80%	68%	73%	61%
[2]調査継続し、対策を検討する	37%	42%	38%	34%	47%	41%	39%	22%	21%	13%	10%	14%	27%	12%	16%
[3]対策を検討し、改善の必要あり	21%	0%	7%	0%	0%	11%	12%	16%	5%	0%	7%	4%	5%	12%	3%
[4]その他	0%	0%	5%	3%	0%	2%	2%	5%	3%	5%	3%	0%	0%	0%	0%
[5]無回答	7%	0%	2%	0%	0%	11%	5%	0%	0%	5%	3%	2%	0%	4%	21%

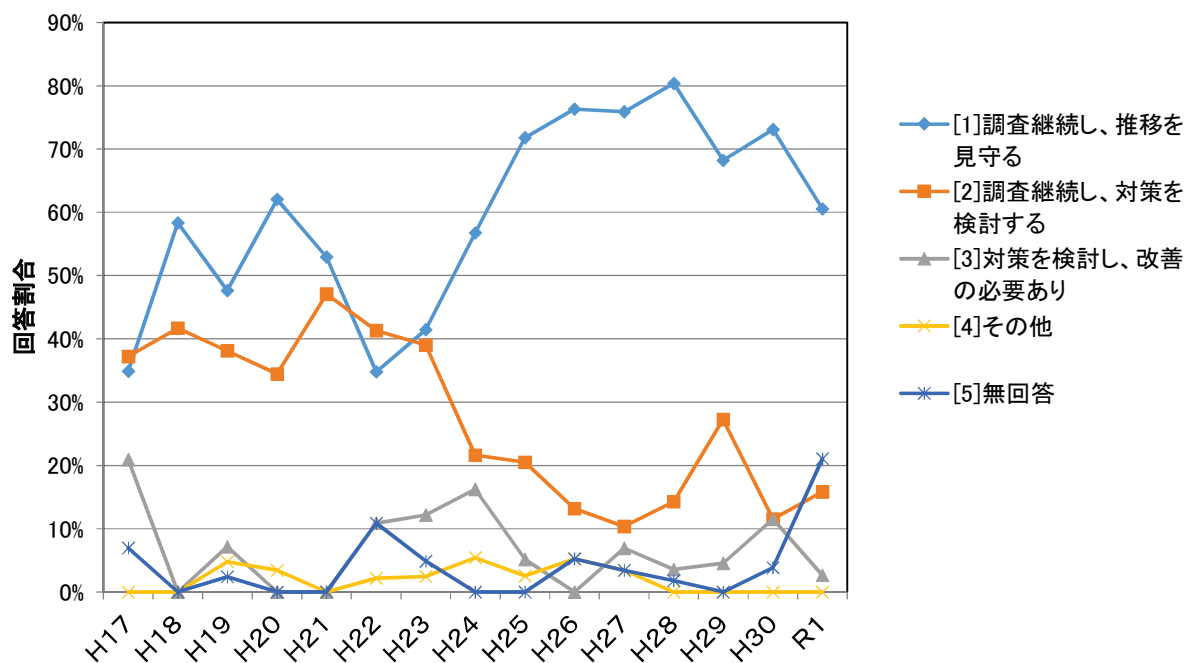


図-7 選択項目別回答割合推移(底質)